吉川市の給水管取出し及び撤去工事の注意事項

（１） 舗装版切断工

・舗装を切断した際に出た汚水等は、道路上に放置せず適正に処理してください。

（２） 掘削工

・**抉り掘り（狸掘り）は危険な為禁止です。**

（３） サドル分水栓（割Ｔ字管）等の取付

◎サドル分水栓（割Ｔ字管）の離隔距離

サドル分水栓（割Ｔ字管）は取水口（削孔芯）からではなく**端面から**の距離とする。

継手、仕切弁、消火栓も**端面から**の距離とする。

設　置　物	離　隔
サドル分水栓　～　サドル分水栓	300㎜ 以上
サドル分水栓　～　割Ｔ字管	600㎜ 以上
割Ｔ字管　～　割Ｔ字管	
継手　～　サドル分水栓（割Ｔ字管）	
仕切弁　～　サドル分水栓（割Ｔ字管）	1,000㎜ 以上
消火栓　～　サドル分水栓（割Ｔ字管）	

※　上記表の離隔がどうしても確保できない場合は、必ず水道課へ相談してください。

（４） 防食コア

・コア挿入機は、打ち込み式ではなく**「ねじ込み式」**を使用してください。

（５） 給水管（SUS）

・SUS 給水管の場合はポリスリーブを被膜し、年号テープで固定してください。

・フレキ部がある場合は、フレキ部に余裕をもたせてください。

（６）他埋設管

・他埋設管との離隔は必ず 300 ㎜以上確保してください。

（　離隔が 300 ㎜以上確保できない場合は、まず水道課に相談してください。　）

（７） 埋戻し

・地中、掘削部分に水が溢れてくる現場では、水中ポンプ等を使用し、排水してから埋戻し作業を行ってください。

※水中ポンプ等でも水が排水しきれない場合は、必ず水道課へ連絡してください。

・管上 300 ㎜までの埋戻しは、山砂か川砂を使用してください。

・配水管が石綿管（ACP）の場合、管上 300 ㎜までの埋戻しは、再生砂・川砂を使用してください。

・管上 300 ㎜までの転圧は、**〈200 ㎜と 100 ㎜〉や〈150 ㎜と 150 ㎜〉等**、一層の厚みが 200 ㎜以下になるように**二層に分けて人力で転圧**を行ってください。

・管上 300 ㎜より上の層の転圧は、機械で行ってください。

・【路床・下層路盤・上層路盤】の埋戻し及び As 舗装については、道路管理者の許可内容に従って施工してください。

・私道の埋戻しも原則市道に準じて適正に施工してください。

（８） 撤去管

・給水管の**撤去は開削で行ってください。**

（９） メーターユニット

・メーターユニットの設置位置は、道路境界線から管の平面延長で１ｍ以内とし、車両が上に載らず検針しやすい場所としてください。

（１０） その他

・工事中に配水管や給水管の上に乗ったり、足で押さえたりしないでください。

・ＨＩＶＰのスクイズオフ圧着工法は、禁止です。

・安全のために現場では必ずヘルメットを着用してください。

（１１） 上記によらない施工については、原則『吉川市給水装置工事設置設計基準』及び『給水装置工事技術指針』に準ずるものとします。

また、質問等がある場合は、必ずメールでお願いします。

suidou2@city.yoshikawa.saitama.jp



令和７年６月作成　　吉川市水道事業

工事写真について

提出部数

	一般部	河川区域内
市道(私道)	1部	3部
県道	3部	5部

その他必要に応じて、提出して頂く場合があります。

（1） **黒板の確認** **※雨天時は黒板の文字に注意**

写真に写す黒板には以下の項目が正しく記入されているか確認してください。

・工事店名（会社）

・工事場所住所（給水装置工事申込書の工事場所と同じ住所であること）

・立会者が必要な写真には、立会者の氏名を記入

・工事日

（2） **工事箇所の状況（施工前・施工後）**

・舗装版切断工・掘削状況も含む

（3） **配水管深さ**

・ＧＬから管頂での深さがわかるようにスタッフ付きで

（4） **サドル分水栓取付状況**

※他サドル〈割Ｔ〉、継手からの離隔がわかるようにスタッフ付きで

（5） **サドル分水栓の水圧テスト** 0.75Mpa×10 分間※穿孔前に測定

・サドル分水栓とテストポンプ、黒板、時計、立会者が入るよう**（開始・終了で各１枚）**

・水圧計、時計のアップ（開始・終了で各１枚）

・ＡＣＰの場合は 0.5Mpa×10 分間

（6） **コア**

・コア挿入前、コア挿入状況、コア挿入後**（各一枚）**

（立会者と黒板が入るように撮影）

（7） **穿孔**

・立会者と穿孔状況、黒板が入るよう撮影

・穿孔片が出るものは、立会者と穿孔片、黒板が入るよう撮影

（8） **残留塩素測定**

・立会者と測定器、黒板が入るよう撮影

・測定器のアップ

（9） **サドル分水栓から乙止水栓までの水圧テスト** 0.75Mpa×10 分間※乙止水栓で測定

・乙止水栓とテストポンプ、黒板、時計、立会者が入るよう**（開始・終了で各１枚）**

・水圧計、時計のアップ（開始・終了で各１枚）

（１０） **給水配管状況**

・給水管深さ　（ＧＬから管頂での深さがわかるようにスタッフ付きで）

・全体　（距離が長い場合は何枚かに分けて撮影）

（１１） 他埋設管

・他埋設管（ガス管や下水管等）が確認できる場合は、給水管と他埋設管との離隔が**３０㎝以上**あるのがわかるようにスタッフ等を用いた写真を提出してください。

（１２） 埋め戻し

※ 道路占用許可書に基づき、各層ごと「敷均し」、「転圧状況」、「転圧完了」の写真を提出してください。

・転圧状況、転圧完了の写真は転圧された地盤の状態がわかるよう状況に応じ近景・遠景、明暗対策にフラッシュを使用する等**鮮明な写真**を提出してください。

※ 埋設シートは管上３００で敷設（H＝深さを黒板に入れること）、全体が入るよう撮影。距離がある場合は何枚かに分けて撮影

（１３） アスファルト仮舗装

・プライムコート**完了写真**を提出してください。

（ 状況ではなく完了の写真でお願いします ）

・アスファルト仮舗装完了の写真を提出してください。

（ 仮舗装上に**「W」**のマークを記入された写真を提出してください。 ）

（１４） 県道について

温度管理やシールコート等もチェックシートに基づき、施工してください。

（１５）撤去管

※ 既設給水管などの撤去がある場合は、止水状況を提出してください。（防食フィルムでサドル分水栓（ガードキャップを付ける）・割Ｔ字管を覆っているところも撮ること！）

※ 撤去部が取出し部と別穴の場合、撤去部の埋戻し写真も必要になる為注意してください。

・撤去された撤去管**（全景）**の写真を提出してください。

（１６） 保安状況

・工事日が複数日になる場合は、日別ごとの保安状況を提出してください。

★ （５）、（６）、（７）、（８）、（９）の撮影では立会者を含めて撮影

【注意事項】

◎ 写真撮影時は明暗に注意し状況によりフラッシュ等を使用して鮮明な写真を提出してください。

（ 特に埋戻時の地盤は、暗くなって転圧具合がわからないことが多いので注意してください。 ）

◎ 状況により近景・遠景の写真を撮影し鮮明でわかりやすい写真を提出してください。

◎ 上記以外にも状況に応じ必要な写真を求めることがあります。

◎ 私道等であっても上記の写真提出が必要になります。

令和７年６月作成　　吉川市水道事業